

# えんちょう先生の わくわくだより

NO.2 H29.4.24

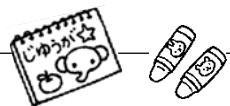


ミッキーケ  
ーキだよ



入園式から早2週間が過ぎてきました。新入園のこども達は、今までの生活とは打って変わった集団の生活に、不安や戸惑いを覚えながらも日一日と園の生活のリズムにも慣れつつあります。当初は、何を言っても泣けて泣けて、鼻水と涙でぐしゃぐしゃだったN君、ふっと窓の外を見れば、そばに転がるボールをポンと蹴って笑っています。初日に大泣きで手を繋いで行った砂場で「ミッキーケーキだよ」と作った遊びが気に入って、黙る事が出来たH君、次の日もその次の日も、職員室の前で、砂場に一緒に行きたくて、待っていた事を思い出しますが、「あれ？この頃姿を見ないけど・・・」と思って部屋をのぞけば、みんなと一緒ににこにこ給食を食べていました。中にはまだ泣けて、園長先生達と、一緒に草を取ったり、花を植えたりのお手伝いをしている子もいます。お姉ちゃんの所で落ち着ける子は、暫くお姉ちゃんと過ごしたりもいいでしょう。こどもは一人ひとり、個人差も大きく、園の生活に慣れていくにもそれぞれの道筋を踏んでいきます。ああしたりこうしたりしながら、早くみんなが喜んで生活が送れる様に応援していきたいと思います。4/20日(木)には、初めてみんなで遊戯室に集まり、第一回目の避難訓練の話を行いました。この一年、火事や地震での避難の仕方を覚えたり、大型絵本も見たね。年中、年長さんは勿論ですが、年少さんも上手に座ってお話が聞けた事に驚きです。入園式から初めてみんなで集まったひと時でした。

## 生活の中から・・・



えんちょう先生のつぶやき・・・



今、こども達の生活を見ていると、その関係作りがとても難しくなっている事を感じます。遊んでいるうちに、ちょっと肩がぶつただけなのに、「○○ちゃんがおした」。砂場で、今仲良く遊んでいたはずなのに「△△ちゃんが、水をかけた！」どっちボール中、球がそれで、頭にあってしまう事も「◎◎君が、私にめがけてぶつけた！」・・・発達途中の、集団の中にいる乳幼児にとっては、当たり前になる遊びの中の出来事です。「これは、ぶつかったとは言わないんだよ。触っただけ」「これは、水をわざと掛けたんじゃない 高いところから水を流して掛かっちゃったんだね。今度は、下の方から流そうか」「ボールは腰から下に投げれるといいね 今はまだ練習中だから許してあげてや」・・・と先生たちは、今起こった事がどう事なのかを言葉で丁寧に教え続けます。昔のこどもなら「ごめん！」「いいよ」で終わりそうな事に、とても手間取ります。遊びの中にも、理由と訳をこんなにも教えなくてはならない時代になったのか？と長く幼児教育に携わってきた私には不思議にさえ思えます。未発達のこどもが大勢集まる集団。言葉で上手く伝わらない事や、気持ちをわかり合う事も練習中のこども達、やる事に、個人差の大きさも当然ある。未分化なこども達だけに失敗や、間違える事だっていっぱいある。そうやって、こどもは育つものなのだと、私達大人も確認しておきたいものです。こどもの失敗は育ちの栄養剤となるはずですから。



年少さん、先生の体操をじーと見ています



年長さんのボールつき遊びや、どっちボールも始まったね



砂場でのごっこ遊びは楽しいね



年中さんのお花見



みんなで一緒においしい給食だよ

いちご、ひよこ組

みんな  
元気いっぱい！



うさぎ組さん、紙芝居に真剣

火事や地震の時は、泣かないように早く逃げるんだよ



**ポエム**

おかあさん  
ぼくは ははの日  
白つめ草という  
クローバーの花を とって  
おうちで くびかざりを  
おかあさんに  
作ってあげた  
おかあさんは  
しばらく 下を むいて  
「ありがとう」といって  
くびかざりを かぶった  
よる「おやすみなさん」をうたうと  
おかあさんは  
くびかざりを  
まだ かけていた

